

OpenID

利用者中心のインターネット社会の実現に向けて

「通信・放送の融合・連携環境における標準化政策に関する検討委員会」向けご紹介

2010年4月19日

OpenIDファウンデーション
副理事長 崎村 夏彦
n-sakimura@openid.or.jp



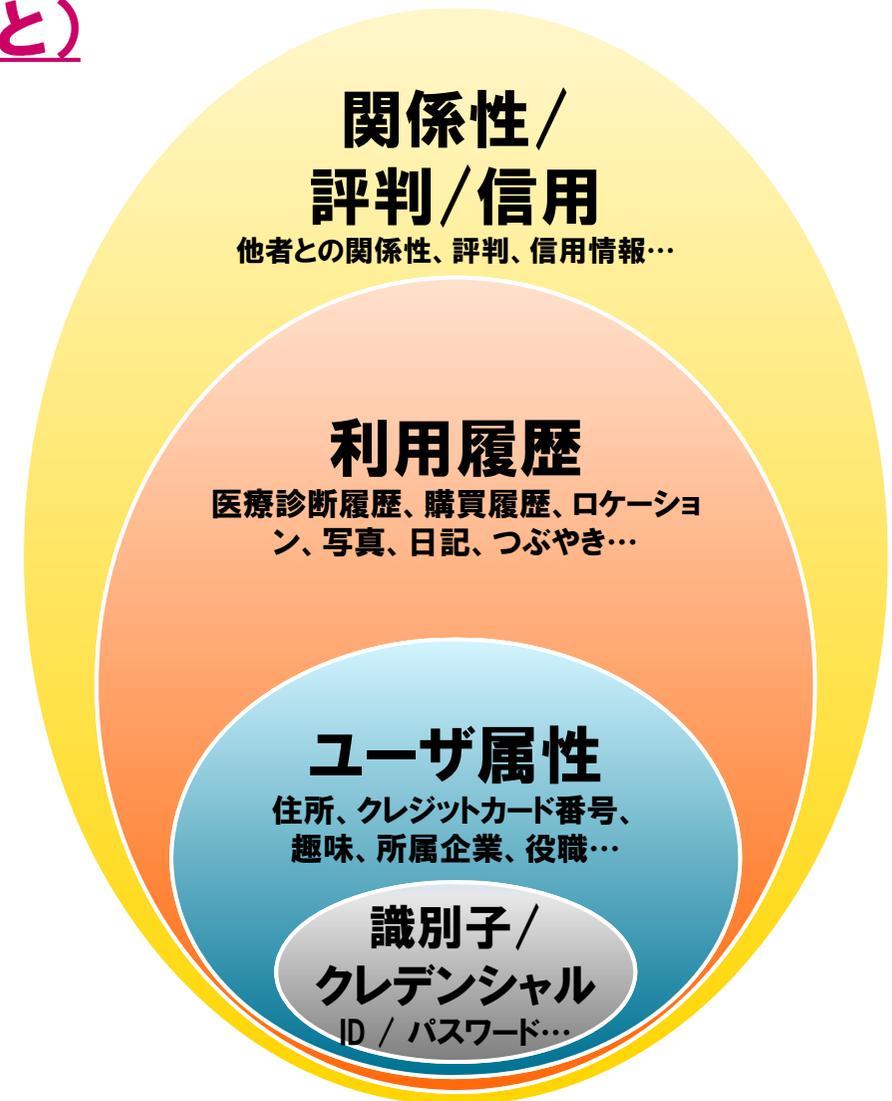
「ID(アイデンティティ)」とは

■ 自分自身であることを表明するもの(こと)

- 自己一致性、自我主体性、他との相違
- つまり、「人の尊厳」そのもの

■ 情報通信サービスにおけるID情報 (=じぶん情報)

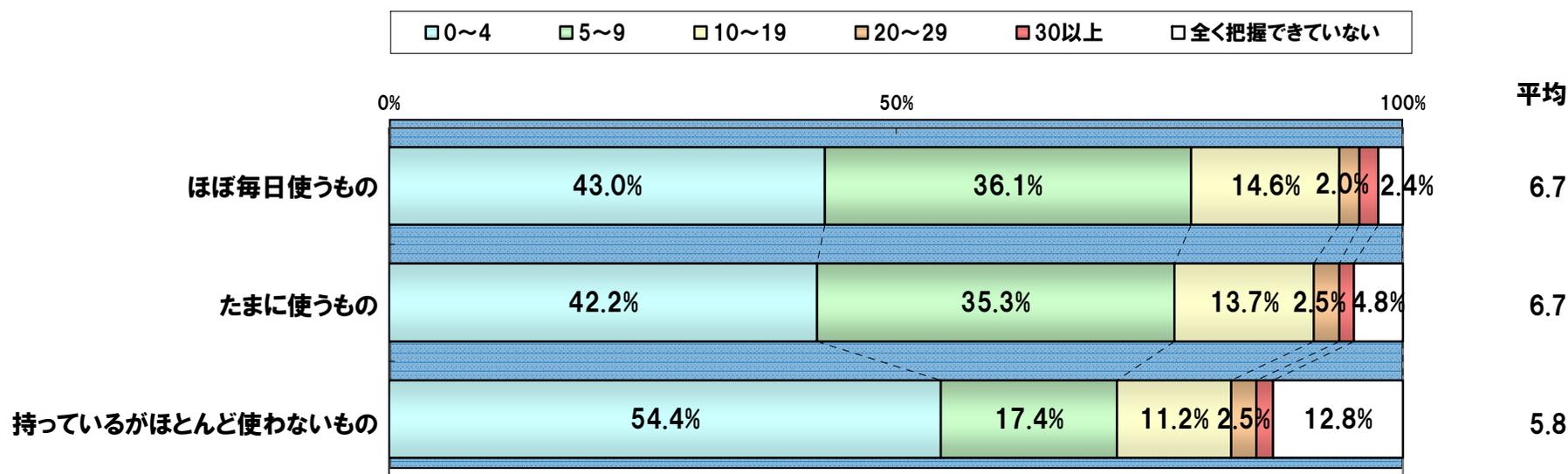
- サービスを提供するうえでの基本情報
 - ・ 識別子/クレデンシャル
 - ・ ユーザ属性
- サービスを利用することにより形成される情報
 - ・ ユーザ属性
 - ・ 利用履歴
- 他者とのかわりにより形成される情報
 - ・ 関係性/評判/信用



氾濫するID情報の実際 ～野村総合研究所 1000人アンケート

■インターネット・ユーザーがIDとパスワードを使ってログインするサイト数は平均19.2サイト

Q. 自分のIDでログインして利用するサイトの数は？【各単一回答】



※2.0%以下のものは数値表記をカット

N=1,000

19.2

(出所) 野村総合研究所 1000人アンケート (2009年)

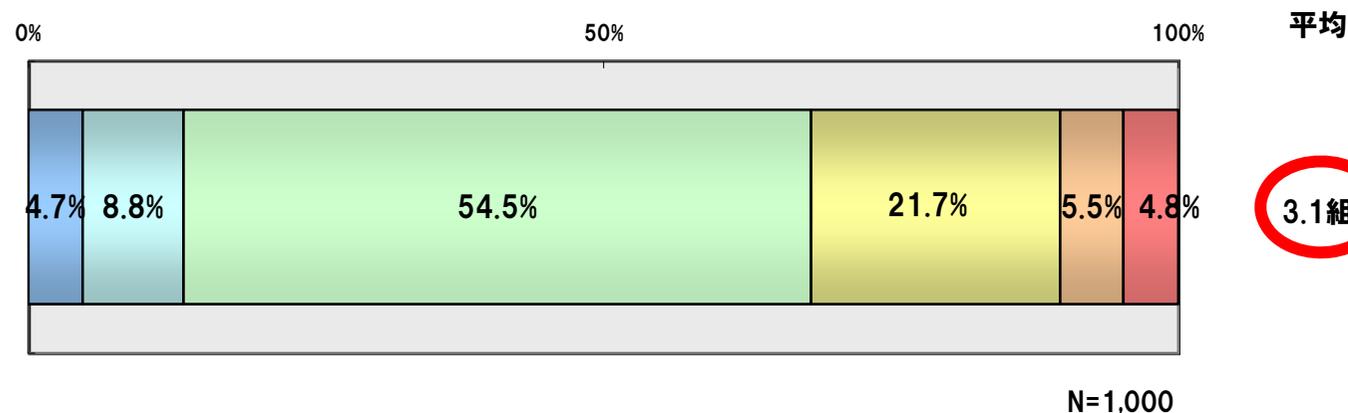
そして、ID情報の氾濫は利用者が管理できる範囲を超えている

～野村総合研究所 1000人アンケート

■インターネットユーザーが確実に記憶できるID・パスワード数の平均は3.1組

Q. IDやパスワードを管理する際、何組までなら確実に記憶することができる？【単一回答】

■ 1組でも自信がない □ 1組 □ 2～3組 □ 4～5組 □ 6～9組 □ 10組以上でも記憶できる自信がある

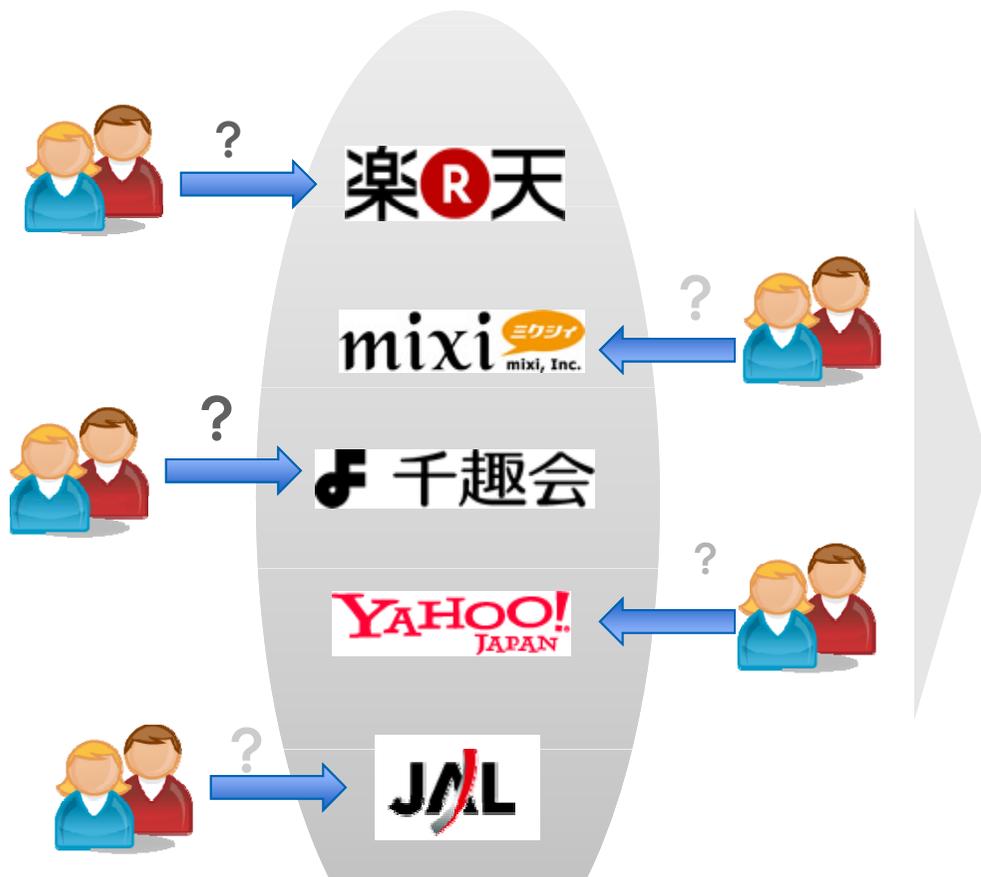


(出所) 野村総合研究所 1000人アンケート (2009年)

「サイト中心主義」から「利用者中心主義」へ



これまでのIDに関する問題



OpenIDの考え方



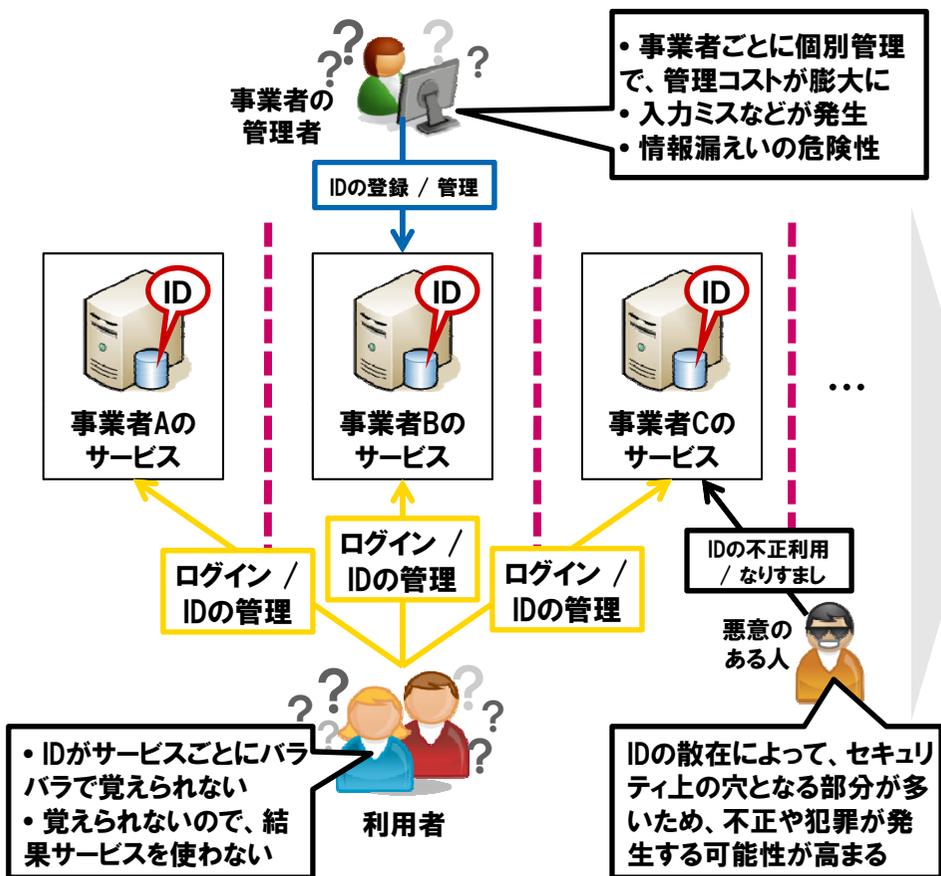
IDが各事業者ごとにバラバラに管理されていることで、
様々な問題があった ⇒ ユーザ不在のサービス

個人情報は本来本人のもの。プライバシー保護を確保しながら
利便性の高いものへ ⇒ ユーザ中心のサービス

OpenID とは = アイデンティティ保護のためのフレームワーク

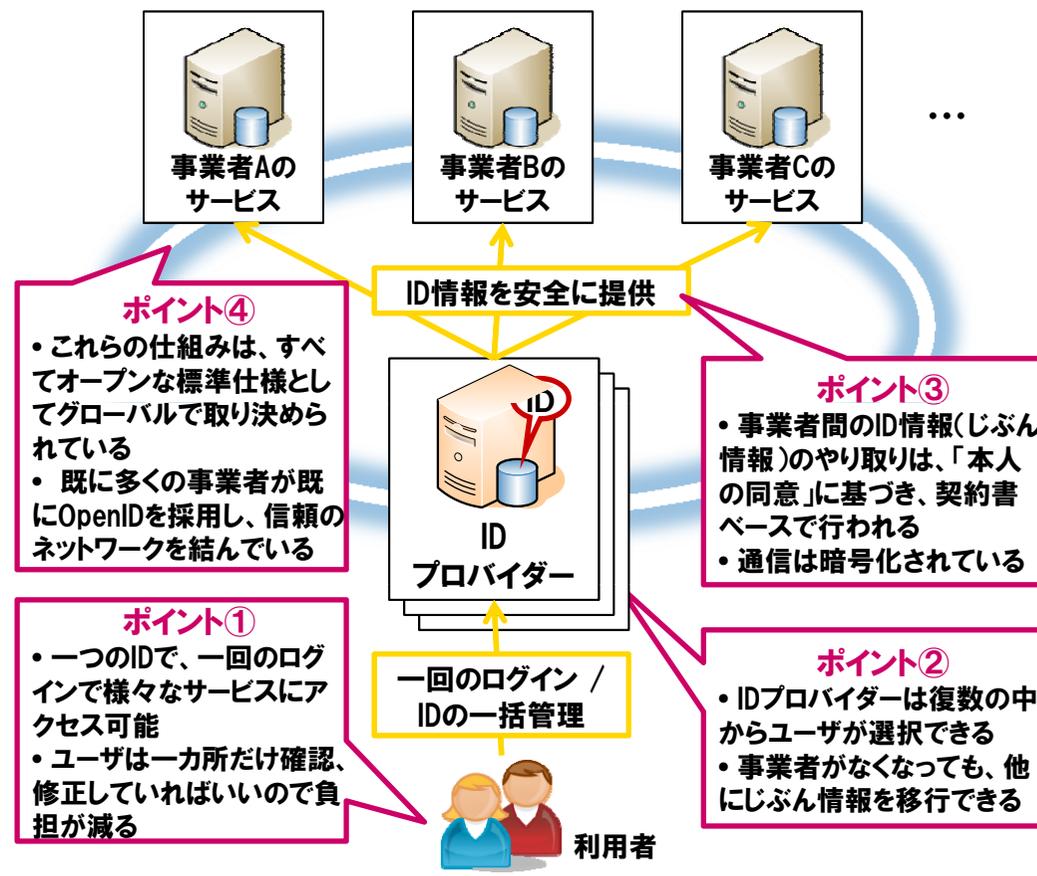


これまでのIDに関する問題



IDが各事業者ごとにバラバラに管理されていることで、
 様々な問題があった ⇒ **ユーザ不在のサービス**

OpenIDの考え方



個人情報本来本人のもの。プライバシー保護を確保しながら
 利便性の高いものへ ⇒ **ユーザ中心のサービス**

OpenID受入れサイトの例

enID

はんぶんこ

Sign in

Email

Password

Keep me logged in for 2 weeks

facebook YAHOO! Google AOL twitter myspaceID

Forgot password? [see more](#)

If you are not a member, [click here to register](#)

MyKmart

Sign in

Email

Password

Keep me logged in for 2 weeks

facebook YAHOO! Google AOL twitter myspaceID

Forgot password? [see more](#)

If you are not a member, [click here to register](#)

経済産業省 アイデアボックス

メールアドレス パスワード ログイン

通常ログイン(上)と OpenIDによるログイン(右)が可能です。

Yahoo! JAPAN ID Mixi ID livedoor ID Google アカウント

フォローして下さい! @openmeti にて 随時ツイート中!

アイデアを投稿する

アイデア一覧(総合) 602

最新コメント(総合) 3581

投稿受付中のカテゴリ

01. ITによる産業高度化 94

02. 中小企業とITシス... 41

03. コンテンツ産業の振興 52

04. 健康・医療分野のI... 35

05. 社会制度総論 90

06. 地球温暖化問題に対... 32

07. 政府等公的サービス... 115

08. 情報セキュリティ 25

09. IT人材育成 13

10. その他IT政策 77

09.IT人材育成

社会経済全体におけるIT利用の拡大及びIT産業全体に占めるソフトウェアやサービスによる付加価値...

■ 社会で使える「IT」教育の必修化 by takoyakickさん

■ 高度IT資格制度の整備 by FreeBalloonさん

■ CS教育の見直しとエンジニアの処遇 by 石黒不二代さん

他のアイデアを見る | 参考資料を見る

08.情報セキュリティ

情報セキュリティ政策の課題と今後のあり方について、アイデアを募集します。

■ 政府サイトのgo.jpドメインの徹底 by yo-さん

■ 不正アクセス禁止法は、利田者(消費者)保護の拡大を

はじめにお読み下さい

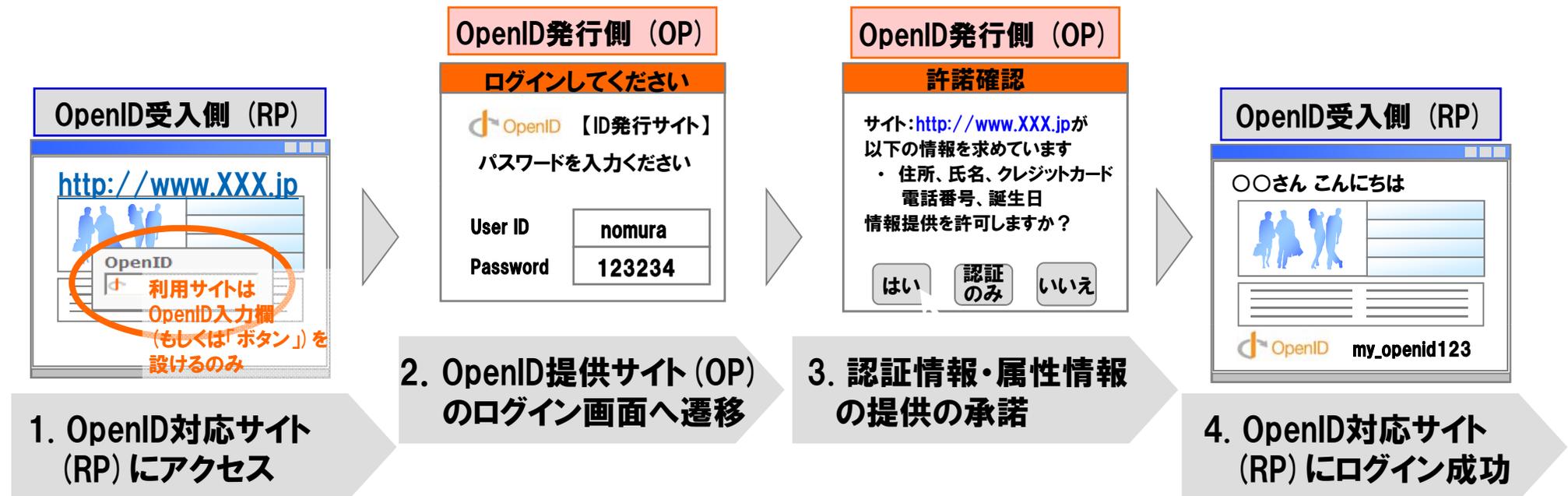
- 募集カテゴリーの紹介
- 投稿・投票してみよう (アイデアボックスの使い方)
- 産業構造審議会情報経済分科会について

新着アイデアのRSSはこちら

OpenIDを利用したログインの流れの一例

■「自己情報」(認証結果や属性情報をはじめとしたID情報)の提供/連携が、ユーザ本人の同意に基づいて行なわれるのがポイント

- **OpenID プロバイダ (OP)**: ID 情報を RP に提供するサイト
 - ・ 代表的なOP: Yahoo, Google, Mixi, Twitter, Facebook, PayPal, NTT Docomo, 一部の諸外国政府のサイト
- **OpenID リライング・パーティ (RP)**: OP から提供された ID 情報を受け入れるサイト
 - ・ 代表的なRP: 経産省 OpenMETI アイデアボックス、米国政府の各サイト(国立衛生研究所、国立議会図書館 等)



OpenIDによるプライバシー保護のためのソリューション



ポイント④「名寄せ防止」

→ 分野ないしはサービスごとに異なる「番号」を振り出す仕組みによって「名寄せ防止」が可能

→ 電子署名の利用時に、証明書情報から名寄せが可能になってしまうという問題に対して、IDプロバイダーがユーザーになりかわって代理署名することによって解決

ポイント③「データの暗号化」

→ データの転送時には、契約書に記載してある、データ引渡し先の公開鍵によって暗号化して送るため、他の機関が読み取ることにはできない

提供した情報の項目
・XXXXXX
・XXXXXX
利用期限:
yyyy/mm/dd
利用目的:
XXXXXのため

ポイント②「利用範囲の明確化」

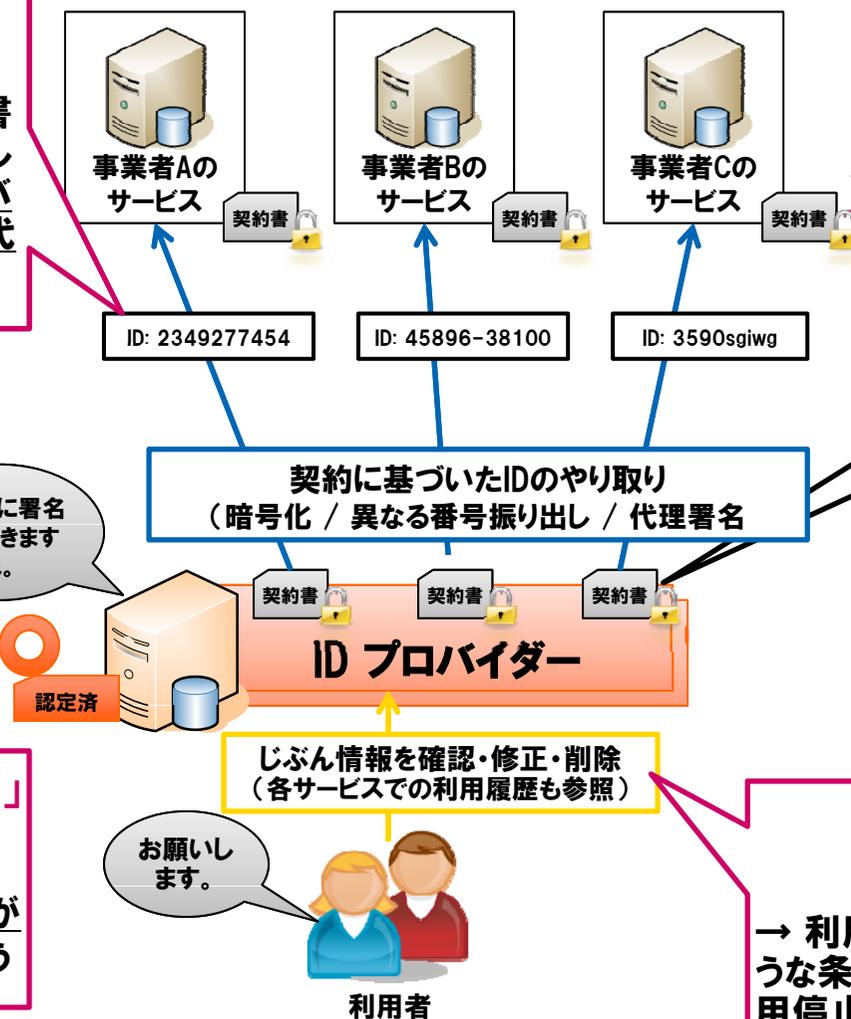
→ 利用される範囲や目的などの情報は、動的に結ばれる「契約書」の中に記載される

ポイント①「じぶん情報のコントロールを本人に」

→ 利用者一人一人がどのサービスにどのような条件で提供したか管理でき、修正や利用停止、削除なども一括で行える

ポイント⑤「ID事業者の認定」

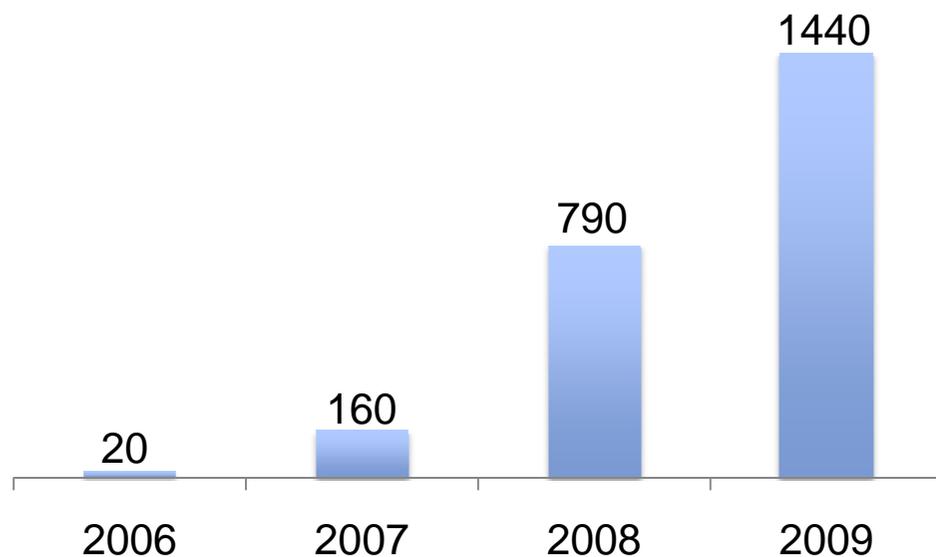
→ IDプロバイダーの信頼性やセキュリティレベルを第三者の機関が検査し、スコアリングと認定を行う



OpenIDの利用は世界的に拡大中



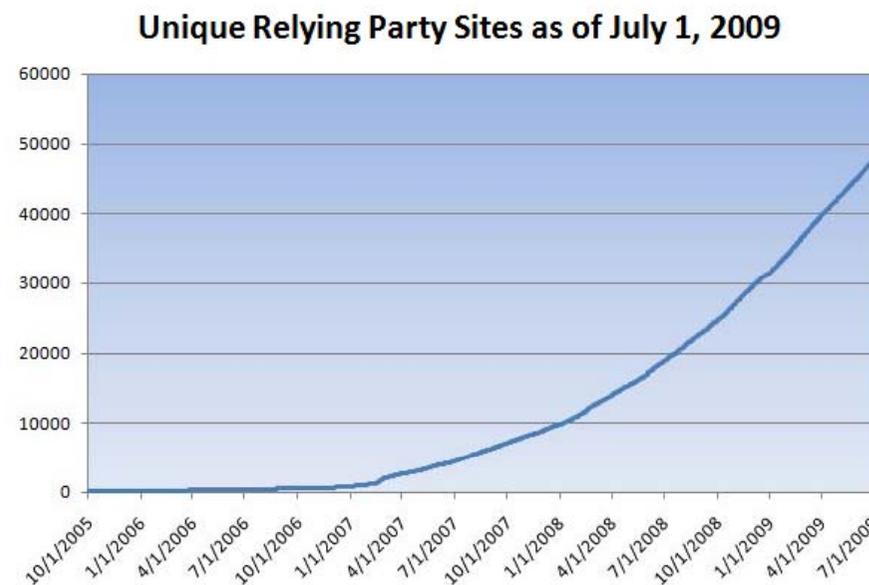
■ OpenID発行数:
約14億ID



出所: OpenID Foundation Update at RSA Conference, April 20th, 2009

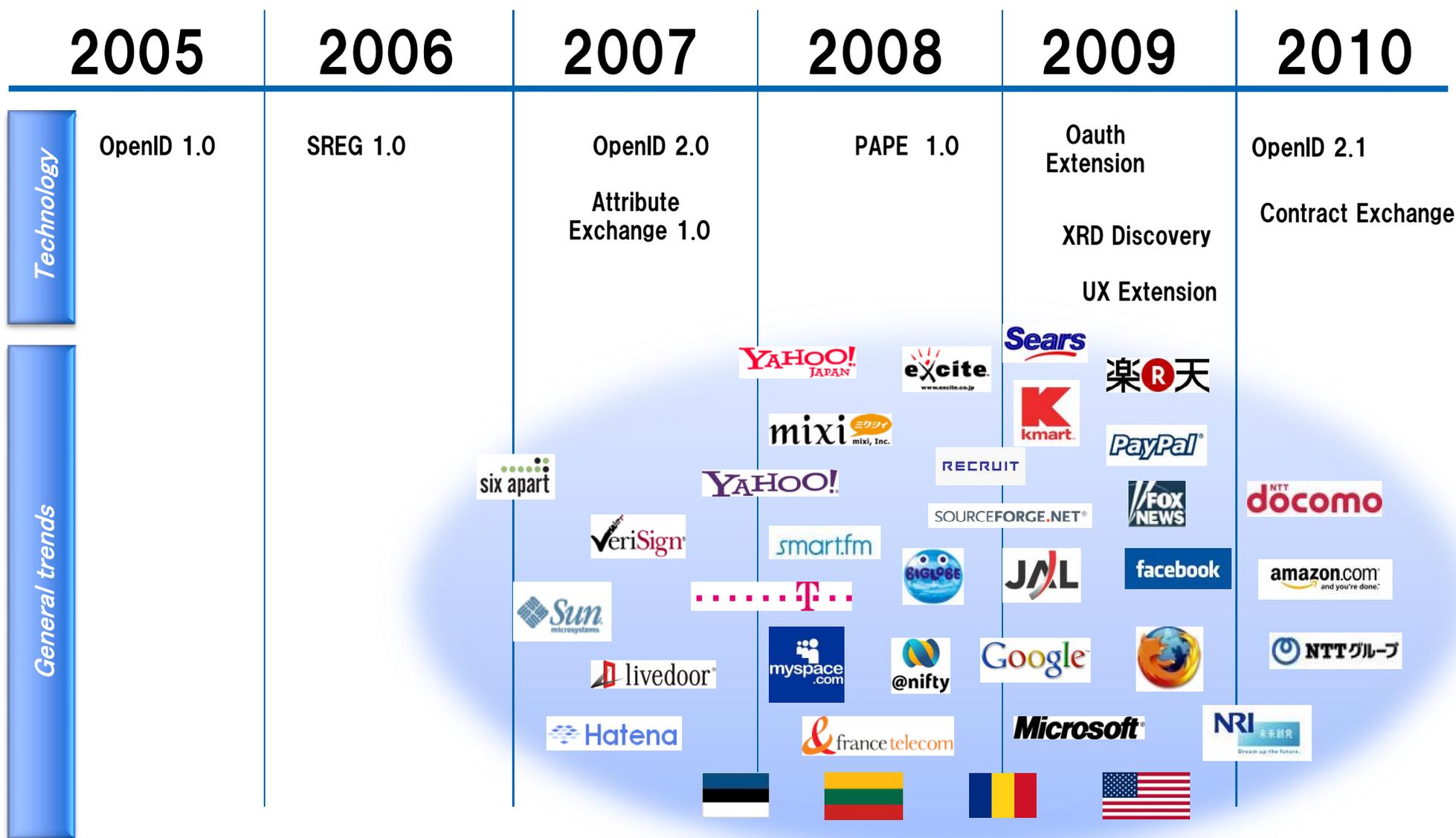
■ OpenID対応サイト:
約5万サイト

● 1年前の約3倍



出所: JanRain Blog: Relying Party Stats as of July 1, 2009

OpenIDの普及：標準技術と主要な採用企業



OpenIDファウンデーション・ジャパン～参加メンバー



会員企業55社(本日現在)

株式会社アグレックス
株式会社朝日ネット
株式会社アスタリクス
株式会社イマーディオ
インディゴ株式会社
エキサイト株式会社
SBIホールディングス株式会社
NECビッグロブ株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
株式会社NTTデータ
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTレゾナント
沖電気工業株式会社
学校法人河合塾
株式会社Cuon
株式会社ケイ・オプティコム
KDDI株式会社
サイバートラスト株式会社

株式会社ザクラ
GMOペイメントゲートウェイ株式会社
株式会社ジェーシービー
シックス・アパート株式会社
株式会社スマートリンクネットワーク
セコムトラストシステムズ株式会社
株式会社セブン銀行
セレゴ・ジャパン株式会社
株式会社千趣会
ソフトバンクBB株式会社
ソフトバンク・ペイメント・サービス株式会社
株式会社損保ジャパン・システムソリューション
タイハイコンピューター株式会社
株式会社ティーガイア
株式会社テクノラティジャパン
株式会社デジタルガレージイーコンテキストカンパニー
凸版印刷株式会社
ニフティ株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社
株式会社日本航空インターナショナル
日本生命保険相互会社
日本電気株式会社
日本電信電話株式会社
日本ヒューレット・パッカード株式会社
日本ペリサイン株式会社
株式会社野村総合研究所
株式会社日立製作所
ペイパルジャパン株式会社
マネックス証券株式会社
株式会社ミクシィ
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行
ヤフー株式会社
株式会社ライブドア
楽天株式会社
株式会社レジェンド・アプリケーションズ

アドバイザー

東京大学 大学院情報学環・学際情報学府 須藤修教授
慶應義塾大学 総合政策学部 國領二郎教授
中央大学 大学院戦略経営研究科 杉浦宣彦教授

パートナー

カンタラ・イニシアティブ JapanWG



理事

八木 晃二 (代表理事) / 古市 克典 (理事) / 古賀 早 (理事)

おわりに



OpenIDのミッション

“インターネット上のアイデンティティに関する諸問題を、利用者中心に解決してゆくこと”

“To solve the Internet identity problems in the user centric way.”